

保護者各位

北海道キリスト教学園
湖畔幼稚園
園長 衛藤 満彦

2017年度幼稚園の保育活動に関する保護者アンケート 集約結果のお知らせ

厳しい冬でしたが、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、何かとお忙しい日々をお過ごしのことと思います。また日頃より当園の保育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、先日実施しました保護者アンケートは111家庭に配布いたしまして、95家庭から回答を頂きました。アンケートへのご協力に対して改めてお礼申し上げます。

現在幼稚園では、保護者アンケートの結果を参考にしながら次年度に向けての準備を進めているところです。

つきましては、今後の湖畔幼稚園の保育を保護者の皆さまと共により良いものにしていきたいという願いを込め、保護者の皆さまにアンケートの集約結果をお知らせします。

4: そう思う

3: ややそう思う

2: あまりそう思わない

1: そう思わない

?: よくわからない

評 価 項 目		評 定	
		保護者	教師
1	幼稚園は、教育目標に沿って保育を行っている	3. 8	4. 0
2	「こはんだより」「学年だより」等の情報提供はわかりやすく伝える工夫や配慮がされている	3. 8	4. 0
3	お子さまは、楽しく幼稚園に通っている	3. 9	3. 6
4	幼稚園の行事によって、経験の幅が広がり、充実した園生活を過ごしている	3. 9	3. 9
5	保育室等は子ども達が楽しく遊び、様々な経験ができるよう環境が整えられている	3. 7	3. 4
6	幼稚園で起きた事故や怪我、感染症や急な体調の変化に対し、適切な対応がなされている	3. 8	3. 9
7	幼稚園の生活において、安全対策がとられている（施設、設備及び災害訓練など）	3. 8	3. 3
8	お子さまの気持ちや様子、子育てについて教師と話したり、相談できる（連絡ノートを含む）	3. 9	3. 9
9	幼稚園は子育て支援（子育てに関する相談・預かり保育・未就園児クラスなど）を積極的に行っている	3. 8	4. 0
10	ユネスコスクールとして、日頃から環境教育、国際理解、地域交流が行われている	3. 7	4. 0
総合平均		3. 8	3. 8

保護者の皆さまからいただいたアンケートの数値の総合平均は、「3.8」となり、9割以上という好結果となりました。

特に高い評価をいただいた項目は、

No.3 「お子さまは、楽しく幼稚園に通っている」	3.9
No.4 「幼稚園の行事によって、経験の幅が広がり、充実した園生活を過ごしている」	3.9
No.8 「お子さまの気持ちや様子、子育てについて教師と話したり、相談できる（連絡ノートを含む）」	3.9

となりました。4段階評定を実施した時の90%である値「3.6」を越える評価をいただいた項目は、全10項目中10項目全てとなり、高い評価を頂いたことに教職員一同とても喜んでおります。

湖畔幼稚園は「神様の愛と恵みのもとに生かされている喜びを分かち合う」という教育目的の達成を目指して、キリスト教保育を行っています。今年度の年主題「愛されて育つ」、年主題聖句「あなたがたは神に愛されている子どもです。」(エフェソの信徒への手紙5章1節)とし、何より、創造主なる神さまが確かなまなざしを注いでくださり、どんなに弱く欠けのある私達であっても、「あなたを愛します」とおっしゃって下さっていることを信じて日々の保育を行ってきました。

今年度も子ども達が、“幼稚園が楽しい”と感じて、喜んで登園し、キリスト教保育の中で、愛されて育つ経験をして、ひとりひとりがありのまま、大切にされていると実感できる保育に努めてまいりました。その事が保護者の皆さまに評価された事は、とてもうれしい事です。

年間の大きな行事として、運動会、こはんまつり、クリスマス会、お楽しみ発表会等があります。その他にも様々な取り組みを行っておりますが、その一つ一つの取り組みを行うに当たり、子ども達の主体性を引き出すために、子ども達と話し合いを重ね、自分たちで考え、工夫し、実践してやり遂げる満足感を味わうことが出来るように配慮してきました。

そのような取り組みの中、毎年テーマを決めて、そのテーマに沿って作り上げていく「こはんまつり」は、今年度、釧路市で開催された幼稚園・小学校・中学校・高校合同の「全道造形教育研究大会」で、実践を発表し、高い評価を頂き、保育者の励ましとなりました。

また、ユネスコスクールに認定されてから、7年が経ち、ユネスコスクールとしての活動も特別の事ではなく、日々のさまざまな取り組みが、環境教育、地域交流、国際理解、の3本柱につながっていると感じています。環境教育としては昨年度の木育活動の流れで、今年度は年長児が木材工場、製紙工場を見学し、紙作りへと発展させました。その観点から更に来年度は「土ってすごい」ということで、米作りやお椀作りを経験したいと考えております。その他にも、北海道教育大学釧路校の畑をお借りしてのじゃがいもやにんじんの栽培活動、園の庭での野菜や花の栽培活動、ゴミ拾いやキャップ・リングプル・書き損じ葉書き等の収集、地域交流として、老健たいようの利用者さんや、近隣の方々との交流、国際交流としての「英語あそび」、…等様々な活動がユネスコスクールとしての活動につながっています。

保護者の皆さまからのアンケートと平行して、保育者による評価も行っています。総合平均としては、保護者の皆さまの平均と同じ「3.8」となりましたが、それぞれの項目についての結果には、多少の差異がありました。

子ども達が楽しく、且つ充実した園生活を送れるようにと、日々振り返り、より良い保育を目指しております事が保育環境に関しての厳しい評価となりました。

また、安全対策につきましては今後も、地震や津波等の災害、防犯等に対する危機管理意識を常に持ち、子ども達の安全を最優先に考えて行動するよう訓練を怠らず、緊張感を持って対応していきたいと考えております。

今年度、保護者の皆さまから総合で「3.8」という高い評価をいただきました。この評価を大変うれしく思うと同時に、現状に甘んじることなく、今後も一人一人の子ども達の育ちを大切に、子ども達の成長の為に、適切な配慮、丁寧な対応を心がけて行きたいと思っております。また、保護者の皆さまとのより良い信頼関係を築き、子ども達の様子を細やかに伝えし、子どもの成長をともに喜び、子育ての楽しさを共有できればと思っております。

今後も保護者の皆さまのご期待に沿うことが出来ますよう教職員一同、より質の高い保育を目指していきたいと存じます。保護者の皆さまには引き続き、本園の保育に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。